Kashimura

保管用
保証書付

KD-192
Bluetooth FMトランスミッタ・・フルバンド 2.4A フレキ マグネットテレホルダ・・付

取扱説明書

ペアリング表示名 KD-192

もくじ

安全上のご注意 ―― 1
注意 ―― 2
警告 ―― 2
使用上のご注意 ―― 3
各部の名称と働き ―― 3
使用方法(初めて使用する場合) ―― 4
主なBluetooth搭載機のペアリング方法 ―― 5~7
使用方法 ―― 8~13
保証書 ―― 14

＊お買い上げありがとうございました。
＊ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
＊お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

＊ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
＊ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
＊また注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

記号の説明

❗	この記号は必ず実行していただく内容を示しています。
⃠	この記号はおこなってはいけない内容を示しています。

⚠危険

⃠	＊耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため音量を上げすぎないようにご注意ください。
❗	＊走行中での携帯・自動車電話機の使用は法律で禁止されていますので万が一電話をかける場合は安全な場所に停車してから携帯電話機の操作をおこなってください。

⚠注意

❗	＊扉を閉めきった自動車の中やダッシュボードの上などの直射日光があたる場所やエアコンの吹出口などの異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。（事故・故障の原因となります。）
❗	＊USB端子からUSBケーブルを抜く時は、必ずUSB端子部を持って抜いてください。（感電やショートして発火することがあります。）
❗	＊落としたり、ぶつけたりして破損した場合は使用しないでください。（感電・発火の原因となります。）
❗	＊充電完了後に長時間USBケーブルをUSB端子に接続したままにしないでください。また充電終了後はぶすUSB端子からUSBケーブルを抜いてください。（事故・故障の原因となります。）
⃠	＊自動車内で使用した場合、車種により車載電子機器に影響を与える場合があります。安全運転を損ねるおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。（事故・故障の原因となります。）
⃠	＊調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたる場所には置かないでください。（事故・故障の原因となります。）
⃠	＊子供の手の届く所には保管しないでください。（事故・ケガの原因となります。）
⃠	＊湿気の多い所には保管しないでください。（絶縁劣化により感電することがあります。）

⚠警告

❗	＊本製品を正常にご使用中、異臭・発煙・変形などの異常が起きた場合には、ただちに本製品の使用を中止してください。（感電・火災・事故の原因となります。）
⃠	＊熱器具の近くや直射日光の当たる所で本製品を充電したり、放置しないでください。（火災・事故の原因となります。）
⃠	＊子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使用しないでください。（事故やけがをするおそれがあります。）
⃠	＊水につけたり、ぬらしたりしないでください。また湿気の多い所やぬれた手で使用しないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
⃠	＊絶対に分解・修理・改造をしないでください。（発火や異常動作によるけがの原因となります。）

使用上のご注意

良好な通信のために

＊接続機器とは見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては通信距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
＊電気製品（AV機器・OA機器・電子レンジなど）から3m以上離して通信してください。テレビやラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
＊無線機や放送局の近くなどで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。

使用する電波について

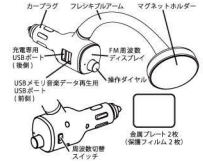
＊本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありません。
が以下の場合や製品の近くでは使用しないでください。

2.4 FH 1
※使用電波帯：2.4GHz
変 調 方 式：FF-SS
与干渉距離：10m

※病院内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
※電子レンジ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
※自動ドア・火災報知器など
※工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
※特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
※IEEE802.11b/g無線LAN機器

上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると電波の干渉を発生するおそれがあります。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運営されています。

各部の名称と働き



【製品仕様】

無線方式	Bluetooth Ver.4.2（Class2準拠）
送信周波数範囲	2.402GHz～2.480GHz
FM周波数	76.0～90.0MHz(0.1MHz間隔で選択)
対応プロファイル	A2DP,AVRCP,HFP,HSP
マルチポイント	対応しておりません。
SCMS-T	対応
無線距離(Bluetooth)	約10m
外観寸法	約W55×H250×D80 mm
動作・保証環境	温度 0～35℃(結露しないこと)
入力電圧	DC12V-24V
充電出力電圧/充電出力電流	5V/2.4A(2,400mA)

使用方法（初めて使用する場合）

【ペアリング（初期設定）をします。】
5~7ページに主なBluetooth搭載機種のペアリング方法が書いてありますので下記の内容と合わせてご確認ください。

❶車のカーソケットと本製品のカーブラグ部のホコリ、灰などをきれいに取り除きます。本製品のカーブラグをカーソケットに挿し込んでください。カーソケットの形状が特殊な車（外車及び一部国産車）では使用できない場合があります。

❷使用する端末機器のBluetooth機能設定でペアリング可能な機器を検索してください。検索方法は端末機器により異なりますので、詳しくは端末機器の取扱説明書をご参照ください。

＊本製品にUSBメモリを挿し込んだ状態で本製品をカーソケットへ差し込んだ場合は、USBメモリの音楽データが再生されます。ペアリングをする時は、USBメモリを本製品から外してください。

❸検索画面に「KD-192」と表示されますので、選択してください。
❹選択後は端末機器の指示に従い操作をしてください。
認証のために端末機器によりパスキーの入力が必要な場合があります。パスキーを要求された場合はゼロ4つ（0000）を入力してください。
接続する種類を要求された場合は、「オーディオ」「ハンズフリー」を選択してください。
＊パスキーという表記名は端末機器の機種によって異なりますので詳しくは端末機器の取扱説明書を参照してください。
❺端末機器のBluetooth機能設定で、本製品が接続されているかご確認ください。接続状態の確認方法は端末機器により異なりますので、詳しくは端末機器の取扱説明書をご参照ください。

主なBluetooth搭載機種のペアリング方法

※ペアリングする時は、本製品のランプを青点滅にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

docomo

機種	アップル iPhone 7s/7sPlus	ソニー Xperia XZ Premium SO-04J	サムスン Galaxy S8+ SC-03J
ペアリング設定方法	メニュー↓設定↓Bluetooth↓ONにする↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了	アプリケーション画面↓設定↓無線とネットワーク↓Bluetooth↓ONにする↓検索↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了	アプリケーション画面↓設定↓接続↓Bluetooth↓ONにする↓スキャン↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了

機種	サムスン Galaxy S8 SC-02J	シャープ AQUOS R SH-03J
ペアリング設定方法	アプリケーション画面↓設定↓接続↓Bluetooth↓ONにする↓スキャン↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了	アプリケーション画面↓設定↓無線とネットワーク↓Bluetooth↓ONにする↓更新↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了

携帯電話機の機種別ペアリング方法

バーコードを携帯電話機のバーコードリーダーで読み取り、各機種のペアリング方法をご確認いただけます。バーコードリーダー機能がついていない携帯電話機の接続方法については、携帯電話機の説明書をご確認ください。パソコンからご確認頂く場合は下のURLからご確認頂けます。
http://www.kashimura.com/goods/kaitai/bluetooth/bthml

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ（http://www.kashimura.com/）をご覧ください。

※ペアリングする時は、本製品のランプを青点滅にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

au

機種	アップル iPhone 7s/7sPlus	シャープ AQUOS R SHV39	サムスン Galaxy S8+ SCV35
ペアリング設定方法	メニュー↓設定↓Bluetooth↓ONにする↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了	アプリケーション画面↓設定↓無線とネットワーク↓Bluetooth↓ONにする↓更新↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了	アプリケーション画面↓設定↓接続↓Bluetooth↓ONにする↓スキャン↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了

機種	サムスン Galaxy S8 SCV36	京セラ TORQUE G03 KYV41
ペアリング設定方法	アプリケーション画面↓設定↓接続↓Bluetooth↓ONにする↓スキャン↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了	アプリケーション画面↓設定↓無線とネットワーク↓Bluetooth↓ONにする↓更新↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了

主なBluetooth搭載機種のペアリング方法

※ペアリングする時は、本製品のランプを青点滅にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

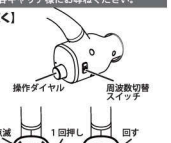
SoftBank

機種	アップル iPhone 7s/7sPlus	シャープ AQUOS R 605SH	京セラ DIGNO G 602KC
ペアリング設定方法	メニュー↓設定↓Bluetooth↓ONにする↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了	アプリケーション画面↓設定↓無線とネットワーク↓Bluetooth↓ONにする↓更新↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了	ホーム画面↓設定↓無線とネットワーク↓Bluetooth↓ONにする↓更新↓「KD-192」と表示された番号を選択↓接続完了

使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

【携帯機器の音楽をBluetoothで接続して聴く】

❶カーステレオの電源を入れてFMラジオを選択し、任意の周波数に設定してください。
❷本製品の周波数切替スイッチを1回押して、本体正面に表示されている周波数を点滅状態にします。
❸正面の操作ダイヤルを右(もしくは左)へ回し、周波数を切り替えて、FMラジオの周波数と本製品の周波数を合わせてください。
❹本製品の操作ダイヤルで下記の操作が行えます。
1回押し：音楽再生・停止
右へ回す：曲送り
左へ回す：曲戻し
＊一部の機器/音楽アプリ等では操作できない場合があります。
❺車のエンジンを切ると、音楽が自動的に一時停止します。
＊一部の機器では自動停止しない場合があります。



【USBメモリの音楽データを聴く】

❶USBメモリにMP3形式で音楽ファイルを入れます。
＊WAV形式の音楽ファイルは再生できない場合があります。
＊本製品はオレンジ音源、上記の形式以外の音楽ファイルには対応しません。
❷本製品の「MUSIC USB」ポートへ、音楽ファイルを入れたUSBメモリを挿し込みます。
＊「AUTO USB max2.4A」ポートは充電専用USBポートになります。
❸しばらく待つと、自動でUSBメモリ内の音楽ファイルが再生されます。
❹製品の操作ダイヤルで下記の操作が行えます。
1回押し：音楽再生・停止
右へ回す：曲送り
左へ回す：曲戻し
❺車のエンジンを切ると、音楽が自動的に一時停止します。
＊一部の機器では自動停止しない場合があります。
＊端末機器とBluetooth接続時にUSBメモリを挿し込んだ場合は、USBメモリの音楽ファイル再生が優先されます。Bluetoothで端末機器の音楽再生を行う場合は、USBメモリを取り外してください。

使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

【端末機器を充電する】

本製品の「AUTO USB max2.4A」ポートへ、USBケーブルを接続して機器を充電できます。
＊「AUTO USB max2.4A」には自動識別ICを搭載していますiPhone/iPad/iPod/スマートフォン/タブレット等を自動的に識別し、最適な電流で急速充電し、充電時間を短縮できます。(一部の機種では自動識別機能が働かない場合があります。)
＊本製品にUSBケーブルは付属していません。別途、純正のデータ通信&充電用ケーブルが必要です
＊USBケーブルは、純正のデータ通信&充電用ケーブルをご使用ください。
＊上記以外のケーブルを使用した場合、本製品の自動識別機能が働かない場合があります。
＊「MUSIC USB」へUSBケーブルで機器を接続した場合、通電はされますが、通常より充電時間が長くかかる場合があります。
また、機器によっては充電できない場合があります。

【USBコネクタの注意事項】

＊ケーブルやスマートフォン、USB出力機器の接続端子部の変形や導通性の異物（金属片・鉛筆の芯・ピン・砂など）または液体（汗・化粧水・飲料水等）が付着した状態でのご使用は端子間が短絡（ショート）し発熱や焦げの原因となり大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。また異変があった場合はご使用をおやめください。
＊コネクタを斜めに挿し込んだり、接続状態で上下左右に無理な力を加える等、コネクタに負荷をかけないでください。各接続端子内部への導通性異物や液体の混入・付着はないか必ず確認してください。

使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

※通話による音声は音楽を聴く場合の音量より小さくなります。ご了承ください。

【電話をかける】

本製品からの発信はリダイヤルのみできます。
※「リダイヤルする」をご参考ください。

【電話をうける】

車のスピーカーから着信音または電子音がしたら操作ダイヤルを1回押します。
＊着信時、端末機器に設定している着信音が鳴る機器と、本製品の電子音が鳴る機器があります。
＊着信時、車のスピーカーから着信または電子音が鳴り、端末機器からも着信音が鳴る場合があります。
＊音楽/ワンセグ再生中に着信がある場合は、音楽が停止した後、着信音または電子音が鳴ります。

【電話をきる】

操作ダイヤルを1回押すと通話が終了します。

【着信を拒否する】

車のスピーカーから着信音または電子音がしたら操作ダイヤルを長押ししてください。
＊電子音の場合は"ブルルルルルッ"と音が鳴ります。

【リダイヤルする】

リダイヤルする場合は操作ダイヤルを2回連続で押してください。
＊2台の携帯電話機を使用している場合は、通常は最後に発信した携帯電話機でリダイヤルされます。ただし携帯電話機の組み合せによっては、最後に発信した携帯電話機からリダイヤルされない場合があります。
＊携帯電話機により連続してリダイヤルができない場合があります。リダイヤル機能が働かなくなった場合は時間をおいてから再度リダイヤルをしてください。

使用方法 携帯機器をホールドする

【ホルダー側の準備】

❶初めてご使用になる際には、マグネットホルダー部のシートを剥がしてご使用ください。
＊シートを剥がす際には、黒色のゴムシートが剥がれないようにご注意ください。
❷取り付け部のゴミやほこりを取り除いてください。

【スマートフォン側の準備】

❸スマートフォンカバー（手帳型含む）をご使用の場合

❶ご使用のスマートフォンからカバーを外します。
❷金属プレート裏の両面テープのはくり紙をはがし、ご使用のスマートフォンバー裏面に貼り付けます。
❸手帳型スマートフォンカバーで、汎用タイプやスマートフォンが可動するタイプの場合、可動部分の上から金属プレートを貼り付けます。
❹手帳型スマートフォンカバー裏面が折り たためるタイプの場合、折り曲げた裏面に金属プレートを貼り付けてご使用いただくことも可能です。

❺手帳型スマートフォンカバーで、カード入れがあるタイプの場合、カード入れの部分に金属プレートを貼り付けてご使用いただくことも可能です。
❻傾斜止のため、金属プレートの上から付属の透明保護シールを貼り付けます。
❼スマートフォンカバーをご使用のスマートフォンに取り付けます。

ご注意1 ＊ワイヤレス充電対応のスマートフォンにはご使用にならないでください。また、電子決済機能やNFCを用いてご使用に影響をおよぼすおそれがありますので、スマートフォンの近接センサーとの金属プレートの貼り付けはおやめください。
ご注意2 ＊金属プレート貼り付け面からスマートフォンカバー表面までの厚み4mm以内であることを確認してください。4mm以上ある場合、吸着力が不足するためご使用になれません。
ご注意3 ＊金属プレートはカバーの中心に貼り付けられない場合があります。
ご注意4 ＊手帳型カードやCカード等をマートフォンカバーに収納されている場合、磁力や金属プレートの影響で動作不良や記憶内容の破損・破壊、誤作動をおこす恐れがありますので、別の場所へ収納してください。

使用方法 携帯機器をホールドする

【スマートフォン側の準備】

❹スマートフォンをご使用でない場合、またはスマートフォンカバーの背面に直接貼り付ける場合
※吸着力が強いため脱着に不具合がでる場合があります。予めご了承ください。

❶スマートフォンやスマートフォンカバーの傾斜止のため、金属プレート貼り付け位置に透明保護シールを貼り付けます。
❷金属プレート裏の両面テープのはくり紙をはがし、透明保護シールの上へ金属プレートを貼り付けます。

ご注意1 ＊スマートフォンの表面に凹凸がある場合、透明保護シールの粘着力が弱まるおそれがあります。
＊透明保護シールや金属プレートをスマートフォンやスマートフォンカバーから剥がした際、スマートフォンやスマートフォンカバー表面に、透明保護シールや両面テープの跡や粘着剤が残るおそれや、塗装・コーティングが剥がれるおそれがありますのでご注意ください。

【スマートフォンの取り付け】

❶金属プレートを取り付けた部分を、本製品のマグネット部に近づけてください。磁力で吸着します。
❷スマートフォンを手であさえた状態のまま、ホルダーの角度、アームの角度を任意の位置へ調整してください。
❸きちんと固定されたことをご確認の上、手を離してください。
＊スマートフォンを投げて取り付けることは落下・破損の恐れがありますので行わないでください。
＊スマートフォンが少し上向きになるように取り付けてください。床に対して垂直方向、もしくは下向きに取り付けると、スマートフォンが落下・破損する恐れがあります。
＊手帳型スマートフォンカバーや厚みがあるケースを取り付ける際には、必ず走行前に落下しやすくないかご確認の上、ご使用ください。
＊手帳型スマートフォンカバーを折り返してご使用は、吸着力が弱くなりスマートフォン落下・破損する恐れがありますのでおやめください。
＊吸着力が弱い場合は両機の金属プレートを2枚ご使用いただき、金属プレート面を大きくしたり、マグネットホルダーから金属プレートまでの厚みが薄くなる位置へ貼り付ける等、しっかりと吸着できるようにしてください。

【スマートフォンの取り外し】

スマートフォンの両端を持ち、スライドさせるようにして持ち上げます。

【ホルダー使用時の注意事項】

●使用環境温度（周囲の温度）が0℃~35℃の範囲でご使用ください。
※車内温度が高温になる場合、粘り付け用両面テープの粘着強度が不十分になり、スマートフォンが落下・破損の恐れがありますのでご注意ください。
●走行中、運転操作による本製品及び端末機器の操作は大変危険ですので、絶対におやめください。必ず車を安全な場所に停車させてから操作を行ってください。
●運転の妨げになると思われる場所、安全装置の作動効果の妨げになる場所には取付けないでください。
●走行前に本製品、またスマートフォンが本製品へしっかり固定されているかご確認ください。不安定な状態での使用 は損傷などによる事故・破損の原因となります。
●本製品は強力なネオジム磁石を使用しています。お取り扱いについては次の内容にご注意ください。
○心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用の方は絶対に本製品を近づけないでください。
○時計・磁気カード・チケットやメモリーなどの磁気記憶媒体に近づけないでください。動作不良や記憶内容が破損・破壊される恐れがあります。必ずバックアップデータを別機器へ保存するようにしてください。
＊本製品に取り付け機器の破損・消失(ご使用になる機器のメモリー・データ等)に関しての責任は一切負いかねます。
●本製品のホルダー部を、時計、磁気カード、チケットやメモリーなどの磁気記憶媒体に近づけないでください。動作不良や記憶内容が破損・破壊される恐れがあります。必ずバックアップデータを別機器へ保存するようにしてください。
●本製品による取り付け機器の破損・消失（ご使用になる機器のメモリー・データ等）に関しての責任は一切負いかねます。
●本製品のホルダー部は、スマートフォンを縦置き・横置きで固定する専用ホルダーです。クレードルとご使用になれません。
●本製品にスマートフォン用のケースは付属しません。
●保護ケースを含めたスマートフォンの重さが300g以上ある場合、ご使用になれません。
●保護ケースの厚みが4mm以上ある場合、ご使用になれません。
○ご使用のスマートフォンの背面部分が曲面になっているスマートフォンはご使用になれません。
○ホルダーへの取り付け面に、凹凸等フラットな面がない保護ケースではご使用になれません。
○必ずスマートフォンが少し上向きになるように取り付けてください。床に対して垂直方向や、下向きに取り付けないようにご注意ください。
○起毛等の生地、摩擦が少ない素材の保護ケースでご使用の場合、吸着力が弱くなりスマートフォンが落下・破損する恐れがあります。ご注意ください。
○各プレートや各パンドルにはは、スマートフォンが落下・破損恐れがあります。ご注意ください。
○路面の状況、走行状態によっては、スマートフォンが落下・破損する場合があります。特に悪路や段差がある場所を走行する時は、スマートフォンを取り外してください。
○エアスペンションが特殊な車、また車種によってはスマートフォンが落下・破損する場合があります。ご注意ください。
○磁力によりスリープモードになる設定やアプリを端末機器で動作させている場合は、誤動作の原因になるため、機能をOFFにしてください。
○フレキシブルアームの根本付近を強く曲げないでください。故障の原因になります。
○本製品を車に取付けた状態でフレキシブルアームを曲げると、本製品及び車のカーソケット部が破損する恐れがありますので、フレキシブルアームを調整する際は、車のカーソケットから本製品を取外した状態で行ってください。
○スマートフォン取り付けや、本製品の取り付けについてのお問い合わせは、お答えできない場合があります。予めご了承ください。
●本製品を使用中に、固定されたスマートフォンなどや装着物などが、何らかの原因で脱落・落下して破損や故障・損害が生じた場合でも、当社では一切の責任・保証は負いかねますので予めご了承ください。

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	処置
ペアリングができない。	ペアリングモードになっていない。	本製品を車のDCソケットから一度外し、改めてペアリングをおこなってください。 または既に機器1台を接続中の場合は、1台目の機器の接続を切断するか、ペアリングを解除してください。
	車のエンジンがOFFになっている。	車のエンジンをONにしてください。
音楽がカーステレオから聞こえない。	ペアリングがされていない。	ペアリングをしてください。
	ペアリングの種類が間違っている。	ペアリングの種類を「オーディオ」にしてください。
	車のエンジンがOFFになっている。	車のエンジンをONにしてください。
	音楽アプリが対応していない。	携帯電話機の購入時にプレインストールされている音楽アプリをご使用ください。
ノイズ音や音切れがする。	無線LAN、街中の電波干渉、携帯電話機をカバンに入れてある時に発生する場合があります。	無線LANやWiFi接続のパソコンから離れていただくか、カバンから携帯電話を取り出してください。
	車のFMラジオと本製品の周波数が合っていない。	車のFMラジオと本製品の周波数を合わせてください。
携帯電話との接続が不安定になっている。	携帯電話機のWi-Fiの設定をONにしている時に発生する場合があります。	携帯電話機のWi-Fiの設定をOFFにしてください。

以上の処置をしても異合が悪い場合は事故防止の為、使用を中止しお買い上げの販売店、または当社までご相談ください。